



テレビの取材にちょっぴり緊張（詳細はP8）

やすらぎ

題字：佐藤喜次さん筆（特養住民）

主な内容

住民の健康を祝う集い	P 2～P 3
ぶなの園長寿番付	P 3
シリーズ「在宅支援を考える」	P 4
地域との二人三脚	P 5
和賀川	P 6

No. 37

2007 秋 号

平成19年9月25日発行

	東	年齢	ぶなの園 長寿番付		東	年齢
横綱	高橋マツエ (前郷)	百一		横綱	佐々ホシチ (両沢)	九九
大関	高橋スエ (川舟)	九七		大関	八重樫サノ (北上市)	九七
関脇	大島キヨ (大野)	九六		関脇	斎藤サタ (北上市)	九六
小結	石井イナ (湯本)	九五		小結	西田ホサキ (高下)	九四
前頭	照井ツル (新町)	九四		前頭	米澤ツルヨ (泉沢)	九四

※敬称略、年齢は今年度の満年齢
 ※平成19年9月15日現在の番付



明るく楽しくいつまでも若々しく！

ぶなの園住民の健康を祝う集い

ぶなの園住民の皆さんに人生の大先輩として敬意を表し、長寿と健康をお祝いする「住民の健康を祝う集い」を、九月十九日にぶなの園地域交流スペースで開催しました。

十四時からの記念式典には多くのご来賓の方々、ご家族の方々においでいただきました。西和賀町長、県南広域振興局北上総合支局長（代理で保健福祉環境部長）よりご祝辞を頂戴し、歳祝いを迎えられる五名の住民にはやすらぎ会、そして西和賀町から記念品がそれぞれ贈呈されました。

素敵な着物でご家族と一緒に記念品を受け取った高橋マツエさんは、ぶなの園最長齢の百一歳。「ありがとう」と力強くお礼を述べられ、全く年齢を感じさせません。また、米寿を迎えた高橋スミさんは、感極まって目に涙を浮かべながら記念品を受け取っておりました。住民全員に対しても法人から記念品、調理業者のメフオス様から紅白饅頭が贈られています。

式典の後はお酒や軽食を楽しみながらの祝賀会。ここで会場を盛り上

《歳祝い住民ご紹介》

- 百一賀(百一歳) 高橋マツエさん
- 白寿(九九歳) 佐々木シチさん
- 米寿(八八歳) 高橋スミさん
- 佐藤三郎さん
- 佐々木サキさん

おめでとございます



町長から記念品を受け取る佐々木サキさん



園児たちの元気なステージ



げてくれたのが、せんだん保育所の元気な園児たちのステージです。かわいらしい踊りや歌を次々に披露してくれて、住民の皆さんにとっては何よりの贈り物になったのではないのでしょうか。狭いステージを裸足で走り回る園児たちには若々しいパワーを分けてもらいました。お礼としてぶなの園からは、お菓子の詰まったお楽しみ袋を一人ずつにプレゼント。子どもたちの喜ぶ顔がまた住民へのプレゼントになりました。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいます。園児たちとお別れをした後は住民の歌で盛り上がり、最後は声高らかに万歳三唱で幕を閉じました。多くの仲間と明るく楽しく支えあい、来年も変わらない笑顔でこの日を迎えることを約束しながら。

シリーズ

在宅支援を考える 2

ホームヘルプステーションぶなの園

隣近所のひと言

『まめでらが』には支える力がある！



ヘルパーとの会話も毎日というわけにはいきません

成人を迎えた若い方々は、自分が年老いた時のことを考えてみたことがあるでしょうか。今、西和賀町には八十、九十歳になって一人暮らしをしている人が何人もいます。高齢になっても「地域で暮らす、地域で生きる」は当たり前ですが、家族がそばにいない余儀なく一人暮らしになってしまいがちで生活を送っているのが現実です。

また、一人暮らしの不安だけでなく、元気な時は当たり前でできていたことができなくなったり、病院に行くにはどうしようか、お風呂に入るのも怖い、雪はらいはどうしようか、遊びに来る人もいなくなったりと、寂しげに不安げに語る人が皆さんのすぐそばで増えてきてはいないでしょうか。

このような毎日ある困りごと、あきらめ、我慢などの解決方法の一つとして、福祉サービス（ホームヘルパー等）の利用も大きな力ですが、それだけではまだまだ力不足なのです。それは、福祉の仕組みから、福祉サービスを利用できない日があるからです。

そのような福祉サービスのすき間をうめられるのは、近所のなじみの目と声なのです。例えば「じいちゃんばあちゃん、まめでらが、変わりねが」のひと声をボランティアの心でかけ合ってみてはどうでしょうか。福祉サービスと併せて、隣近所の人たちの「まめでらが」で、高齢の人たちの暮らし

高齢者の元気を招く
まめでらがは
家に富をもたらす
さしきわらしの
おばあさん？



を支えていければと思います。
「昔ほど、まめでらがと隣近所に行かなくなったなあ」と思い出したり、いまだきひと声かけるのは難しいと考える人もあると思いますが、皆さんの気持ち次第で新しい福祉サービスに負けない効き目を出すかもしれないのです。
「まめでらが」ひと声運動、うまくいったら教えてください。
訪問介護員 高橋紅子

地域との二人三脚

地域の方の「こえ」をご紹介します。今回は県立西和賀高校福祉コースの笠水上先生より寄せていただきました。介護実習やボランティア等での交流が続いており、やすらぎ会を支える大きな力となっています。



西和賀高等学校教員
笠水上 訓正 さん



毎年窓拭きのご協力をいただいております

う生徒がほとんどです。施設実習では、介護技術はもちろんですがコミュニケーション能力の向上も目標にしています。不安と緊張感でいっぱいでも臨みますが、職員の方や利用者の方々の暖かいご指導により、最後の介護実習を終えると、学校では得られない達成感と自信を得られているようです。

福祉コース卒業生で福祉関係の進路を選択する生徒は半分程度ですが、施設実習で学んだコミュニケーションや仕事に対する責任ということは、卒業後に役立つと思います。また、ますます高齢化が進み介護が身近になる中で、介護や社会福祉の知識を学ぶことは大きな意義があります。高齢者福祉はじめ福祉政策において、在宅福祉中心という方針が示されるなかで、地域福祉におけるボランティアの役割が重要視されています。福祉コースで学んだ生徒が、それぞれの地域で、将来その一部を担うことができます。

今年も八月末から生徒が実習をさせて頂いています。ご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願ひします。

この経験を将来に活かす

西和賀高校福祉コースは、平成七年度に設置され平成九年度末に初の卒業生を送り出しました。二年生から社会福祉に関する教科を学び、所定の単位を修得し、施設実習等の研修を修了するとホームヘルパー二級の資格を取得することができます。

本校は、ボランティア活動や福祉コースの施設実習でやすらぎ会にお世話になっています。ボランティア活動は、主に七月の夏祭りへの参加と秋の窓拭きになります。夏祭りは、西高生全員に呼びかけ、例年沢内地区の生徒を中心に多数参加しています。窓拭きは福祉

コースの2年生が行っています。福祉コースの施設実習は、二年生が金沢伏見高校生と合同の介護体験を行っています。また、三年生はホームヘルパー研修の一環として、主にぶなの園でデイサービス実習、同行訪問、介護実習を行っています。

ボランティア活動では、普段学校で見られないような生き生きとした表情で活動しています。活動前、あまり気が乗らない様子でも、活動を終えるとまた行きたいとい

雨にも負けず！ やすらぎ会夏祭り



雨よけのテントに入りステージ（車庫内）を楽しむ住民と来場者の皆さん

昨年は雨天により施設内で開催した夏祭り。今年こそは、スカッと晴れた空の下で思いきりさんさを踊りたい！。特養住民の皆さんも職員も思いは一緒でした。七月二十八日当日、

雨は祭り開始直前に降り出しました。しかも小雨でなく土砂降り。お昼に外での開催を決定し準備を進めたため直前の切り替えはかなり難しく、夏祭り九回目にして最大のピンチでした。公明商會様のご厚意で急遽テントをお借りし、まず住民やご家族の観覧スペースを確保、ステージ

の踊りの披露となつてしまい、本当に申し訳ございませんでした。そんな中でも素晴らしいステージを見せていただき、住民やご来場の皆さんの表情を笑顔に変えてくださいました。

さすがにさんさ踊りは車庫で行なうこともできないので諦めようとしていたところ、さんさ保存会の皆さんから、太鼓をビニールで覆って外でたたかしてほしいとの驚きの言葉。さらには、太鼓の音が響き出すと濡れることを全く気に



「みかぐら」の皆さんのステージ

にせず踊り始める方も…。盆踊りらしい大きな輪にはなりませんでしたが、会場全体を雨にも負けぬ晴れやかな気持ちにさせてくれました。

その勢いで抽選会もおおいに盛り上がり、一時はどうなることかと心配した夏祭りも無事終了。ぶなの園の熱気が伝わったのか、そのころには雨は上がっていました。

ボランティアやご出演の皆さん、ご来賓の皆さん、特養住民及びご家族の皆さん、そして足を運んでくださった多くの地域の皆さんに、改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。



雨に打たれながらの太鼓は迫力満点でした！

和賀川



施設長 高橋 一雄

■今年の干支は戌・亥で御佛は阿弥陀如来像であります。永遠のやすらぎと、福德長寿を祈願する大慈悲に満ちた御佛といわれ、武運長寿をお守りしてくれる御佛様であります。

■入所者の皆さんは、自分の生まれ年の十二支の守護本尊を拝見しながら、心のやすらぎを求め、運氣上昇、家運隆盛を念しながら和やかに暮らしています。

は車庫内を使用することとしました。雨は全く弱まる気配がなく、職員もボランティアの皆さんもずぶ濡れになりながらの会場作りでした。今回出演をお願いしていたのは「湯田みかぐら」と「やよい子供会」の二団体様。開始がだいぶ遅くなったうえに窮屈な車庫の中で

■子〓千手観音菩薩（千の慈悲とお慈眼で一切の悩みから救済し、願いを叶える御佛様）丑・寅〓虚空蔵菩薩（智慧、学徳、福德のすべてを象徴し、分け与えてくれる御佛様）卯〓文殊菩薩（煩惱や災難を宝剣で断ち、智慧の働きで世の根本を観る御佛様）辰・巳〓普賢菩薩（信仰心を司り、増益と延命の徳を祈願してくださいる御佛様）午〓勢至菩薩（慈悲と智慧の光明により邪気を破って進路を開いてくださいる御佛様）未・申〓大日如来（宇宙の根源を司り進路を開き、大いなる繁栄をもたらしてくださいる御佛様）酉〓不動明王（煩惱や迷いを打ち砕き、救いを祈願する憤怒の相をもつ御佛様）
■以上紹介した十二支の佛画八点は、前郷の佐々木保夫さんよりご寄贈いただき（平成十四年二月）、食堂に掲示して、住民、職員共に有難く祈願させていただいております。

あゆみ

平成19年 6月～8月

- | | | | |
|------|--------------|------|--------------|
| 6月1日 | 食堂ワックスがけ | 6月9日 | あやめドライブ |
| 4日 | 一・二丁目住民懇談会 | 10日 | 主任会議 |
| 5日 | 理容ボランティア | 16日 | あやめドライブ |
| 6日 | 交通安全講習 | 17日 | 課長会議 |
| 7日 | 課長会議 | 18日 | 第一小総合学習 |
| 12日 | 主任会議 | 23日 | 理容ボランティア |
| 15日 | 住民健康診断 | 25日 | 参議院議員選挙 |
| 18日 | 住民買物ドライブ | 28日 | 特養家族懇談会・家族会 |
| | (盛岡方面) | 30日 | 三丁目住民懇談会 |
| 19日 | 住民心電図検査 | 8月2日 | 佐々木定男さん特養退所 |
| 22日 | 西和賀高校ヘルパー研修 | 6日 | 入所検討委員会 |
| 25日 | おはなし「きらきら」来園 | 7日 | 課長会議 |
| 27日 | 三丁目住民懇談会 | 21日 | 理容ボランティア |
| | (左草) | 23日 | 課長会議 |
| 7月2日 | 一・二丁目住民懇談会 | 25日 | おはなし「きらきら」来園 |
| 3日 | 理容ボランティア | 27日 | 三丁目住民懇談会 |
| 4日 | 中国訪日団視察来園 | | |
| 6日 | 七夕集会 | | |
| 7月2日 | 課長会議 | | |
| 3日 | 理容ボランティア | | |
| 4日 | 中国訪日団視察来園 | | |
| 6日 | 七夕集会 | | |
| 7月2日 | 一・二丁目住民懇談会 | | |
| 3日 | 理容ボランティア | | |
| 4日 | 中国訪日団視察来園 | | |
| 6日 | 七夕集会 | | |
| 7月2日 | 課長会議 | | |
| 3日 | 理容ボランティア | | |
| 4日 | 中国訪日団視察来園 | | |
| 6日 | 七夕集会 | | |
| 7月2日 | 一・二丁目住民懇談会 | | |
| 3日 | 理容ボランティア | | |
| 4日 | 中国訪日団視察来園 | | |
| 6日 | 七夕集会 | | |

表紙の写真

9月4日、かたくりの園にテレビ岩手の取材が入りました。利用者の身体に染み付いた裁縫の指裁きが今ではものづくりの楽しみとなり、その趣味によって次々に生まれているフクロウのマスコットたちがさらに多くの人々の喜び、癒しになっているというレポートでした。9月10日夕方の県内ニュースで放映されています。フクロウ人気到来の予感!?



平成19年6月～8月

【ご寄付】

- ・井口文子様
- ・黒淵公一様
- ・北島文子様
- ・佐々木昭一様

【ご寄贈】

- ・西和賀町婦人連絡協議会様
- ・新田いえ子様
- ・佐々木昭一様
- ・大島和夫様

【ボランティア等】

- ・どれみの会様 (特養支援全般)
- ・長瀬野婦人会様 (ホーム喫茶等)
- ・若畑婦人会様 (ホーム喫茶)
- ・泉沢婦人会様 (ドライブ同行)
- ・川舟婦人会様 (ドライブ同行)
- ・おはなし「きらきら」様 (読み聞かせ等)

- ・カタクリの友様 (草取り)
- ・高橋佑子様 (デイ支援)
- ・高元睦子様 (デイ支援)
- ・佐々木エリ子様 (デイ支援)
- ・八重樫さとみ様 (デイ支援)
- ・黒淵公一様 (草刈り)
- ・佐井昭三様 (草刈り)
- ・第一小学校様 (訪問交流)
- ・せんだん保育所様 (訪問交流)
- ・高橋昭士・和子様 (唄・踊り等)
- ・深澤ノリ様 (デイ支援)

あたたかい善意を頂戴し
厚くお礼申しあげます

- 特別養護老人ホームぶなの園
- デイサービスセンターぶなの園
- ホームヘルプステーションぶなの園
- 西和賀介護相談室

西和賀町沢内字太田2地割135番地

電話 0197-85-2322

FAX 0197-85-2317

- 高齢者生活福祉センターかたくりの園

西和賀町沢内字大野17地割140番地1

電話 0197-85-3388

FAX 0197-85-3389

(発行・編集)

社会福祉法人やすらぎ会
広報委員会

編集後記

福祉施設広報の全国規模のコンテストがあり、思い切ったこの「やすらぎ」を応募してみました。結果は第一次審査で見事落選…。しかし、入賞が目的ではない！。応募すれば専門の審査員の目に触れる、そのこと自体に意義があるのです。残念ながら助言等はありませんでしたが、広報担当としての自覚、向上心を保つうえで無駄なことではなかったと思っています。主催者のホームページで公開されている入賞作品を見ましたが、レベルが違いすぎました…。

W・T